

# 各会派 今任期四年を振り返って

## いばらき自民党



いばらき自民党  
会長  
桜井 富夫

### 「地方創生」実現 最重要に据えて

先の県議選では、わが党の候補者に県民の皆様より温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

の開催も決まり、復興に弾みがつきました。原発事故の影響は今なお、観光業や農林水産業に影を落としていますが、県全体としては着実に震災前の姿を取り戻しつつあります。

日本経済は、アベノミクス効果により回復基調にあり、景気の好循環が生まれ始めていますが、地方は実感に乏しいのが現状です。

今任期を振り返りますと、わが党は政権交代下での改選でも安定多数を確保し、平成二十三年度県予算案を集中審議していた最中に東日本大震災が発生し、一日も早い復旧・復興と、災害に強い県づくりに終始した四年間でした。

我々は県政の責任政党として、全議員が参加して県内の被災状況を調べ上げ、その結果を報告書に取りまとめ、県や党本部はもちろん、当時の政権に対しても惨状を訴えるなど、震災対策に奔走しました。

この間に、わが党が政権を奪還し、平成三十一年の茨城県体や翌二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピック

## 民主党



民主党  
茨城県議会  
議員団代表  
長谷川 修平

### 「いのち、雇用、暮らしを守る」政策実現

師走を迎え県民の皆様におかれましては、多忙な日々をお過ごしのこととご推察いたします。今年も温かいご支援をいただき感謝申し上げます。

さて、今任期中に発生した東日本大震災は、本県に未曾有の災害をもたらしました。私たちは民主党政権と連携し復旧・復興、生活再建に向けて精一杯取り組んでまいりました。

だが、民主党が目指してきた生活者・消費者・納税者・働く者の視点での政策は間違いではなかったと考えております。

議会改革では、私たちの提案した議員定数削減と区割り案は実現できませんでした。人口減少社会への対応、安定雇用の確保、医療・介護体制の充実、マル福制度の拡充、少人数学級の拡大等、政策実現を図ることができました。

安倍政権下の経済優先政策は、景気回復の実感がなく中小企業の厳しい経営や非正規雇用の増加、家庭の経済力低下、医療・教育の格差拡大など、県民生活はますます厳しい状況に置かれております。

時計の針を逆戻りさせるわけにはいきません。今後は県民の皆様との信頼・絆をより一層強め「いのち、雇用、暮らしを守る」政策実現に向け、会派一丸となって取り組んでまいります。

## 自民県政クラブ



自民県政クラブ  
代表  
江田 隆記

### 活力あふれる、夢のある茨城づくりを目指して

師走に入り、県民の皆様には、何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと拝察いたします。

今任期を振り返りますと、まず第一に、平成二十三年に甚大な被害をもたらした東日本大震災を忘れることができません。我が国がこれまでに経験したことがない巨大地震や大津波により、県民の生活や県内経済に非常に大きな

影響を与えました。

次に、平成二十四年の民主党から自由民主党への政権交代が挙げられます。安倍総理大臣は、大胆な金融政策などの三つの政策を中心としたアベノミクスを推し進め、低迷が続く日本の経済を復活させようとしています。中小企業をはじめとした多くの方が、いまだに景気の回復を実感できていないのが現状です。

このような状況の中、自民県政クラブでは、何よりも県民の皆様的生活を第一に、復旧・復興に向けて取り組んでまいりました。

さらにこれからは、国家存亡の危機に関わる少子化問題や安全・安心な生活を脅かしかねない医師不足問題の解決、つくば国際戦略総合特区などを柱に日本一の科学技術創造立県を目指し、力の限り努めてまいります。

## 公明党



公明党  
茨城県議会  
議員  
井手 義弘

### 「活気ある温かな茨城づくり」に全力投球

年の瀬を迎え、皆さま方には、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。この度の県議選では、私も公明党の候補者全員当選を果たすことができました。

温かいご支援に感謝申し上げます。人口減少社会への対応、少子高齢化、地域の活性化など待ったなしの課題に、茨城県は直面しています。一方、陸海空の交通網の充実や豊かな自然、首都圏の

一角に位置する地の利など、茨城は無限の可能性をもった県です。

「政治は人々の幸せへの営み」です。私も公明党の四人の県議は、県民の皆さまの生活現場に飛び込み、皆さまの声を代弁し、明日のいばらきの可能性を大きく開いてまいりました。子どもの医療費無料化の拡充やいばらきシニアカードの創設、少人数学級の拡充など、この四年間に多くの政策を実現することが出来ました。

今回の県議選で、私たちは「活気ある温かな茨城づくり」をめざしてとの四大項目、二十三項目の具体的な政策を掲げました。次の四年間は、その一つひとつを誠実に実現に向けて努力してまいります。

来るべき年も、皆さまに寄り添い、一年であることを祈念いたします。

## 日本共産党



日本共産党  
茨城県議会  
議員  
鈴木 聡

### 力をあわせ暮らしを守る県政へ

年の瀬となり、お忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

「増税で暮らしが苦しくなった」「将来が不安」など、切実な声が寄せられています。

日本共産党は、県民生活を守り、地域経済の振興をはかることが、県政の役割と、取り組んでまいりました。医師確保や救急医療の拡充、中学三

年までの医療費無料化、すべての学年とクラスで三十五人以下学級の実施、特別支援学校の教室不足の解消とつくばでの新設など改善を求め、一歩ずつ前進させることができました。

公共事業は、ダムや港など大型開発より、身近な通学路の整備、学校の耐震化、住宅リフォーム制度の創設などに切り換えることです。

東海第二原発は三十六年になる古くて危険な原発です。再稼働を許さず廃炉にすることが、県民の安全を守る保障です。

TPP参加をやめ、コメの大暴落対策や、農業の再生、中小企業の振興こそ景気回復の要です。

これからも一致する要求で、立場の違いをこえて共同を広げ、住み良い茨城をつくっていくため、力を合わせてまいります。